

トークショウ会場は立ち見でいっぱい (名鉄百貨店7F)

藤井聡太四段の29連勝新記録で将棋ブームとも言える現象が起きています。この2カ月の間に、カルチャーセンターなどからの将棋講座開催に伴う将棋講師の派遣依頼、将棋イベントの開催の相談が20数件東海普及連合会に殺到しています。

その第一弾とも言うべき「杉本昌隆七段と中山則男六段によるトークショウと指導対局」が、8月23日(水)「職人の技」展を開催中の名鉄百貨店にて開催されました。

トークショウの経験の殆どない杉本七段及び中山六段でしたが、そこは故板谷進九段の兄弟弟子、MCの井上さんにリードされながら、藤井四段のこれからの活躍の可能性、それぞれの棋士になるに至った経緯などアンケートでの質問に爽やかに答えながら無事トークショウを終えました。当初の主催者である名鉄百貨店の参加者が集まるかどうかの心配をよそに約40席の椅子席はすぐに埋まり、立ち見の人垣ができるほどの盛況ぶりでした。

午後からの指導対局は、それぞれ10面指しを3回行ってもらいました。最終的に58名のみなさんがお二人の指導を受けられました。

今回の企画で非常に印象的だったのは、女性の参加者が目立ちました。少しお聞きしましたところ2月からインターネットで始めたとのこと、これがなかなかしっかりした将棋で感心しました。また、今や藤井聡太四段の師匠として全国的に有名な杉本昌隆七段と写真撮影を希望して、最後まで2時間近く待っていらした年配のご夫婦など日ごろのイベントとは少し感じが異なる印象を受けました。

いずれにしても初めての企画で名鉄百貨店の担当も私ども東海普及連合会も少なからず不安を感じて当日を迎えましたが、将棋ファンのみなさんの熱い支持に大きく励まされる結果となりました。

(写真)

